

令和 8 年度着手

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

大 堤 谷 地 区 農 業 用 用 排 水 施 設 事 業

【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】

福 井 県

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第1節 気象及び海象	1
1 .一般気象	1
2 .特殊気象	2
3 .海 象	2
第2節 土地状況	2
1 .地形、土壤及び侵食の程度	2
2 .土地分類	3
3 .土地利用の状況	3
4 .土地所有の状況	3
第3節 水利状況	4
1 .用水状況	4
2 .排水状況	7
3 .河川状況	9
第4節 道路概況	10
1 .道路概況	10
2 .主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 .産業別就業人口	11
2 .経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	
並びに専兼業別農家数	11
3 .動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 .主要作物作付け状況	12
5 .農業の動向	12
第6節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第1節 事業計画の要旨	13
1 .要 旨	13
2 .事業別面積	13

第2節 営農計画及び土地利用計画	13
1. 営農計画の概要	13
2. 土地利用区分	13
3. 作付方式	14
4. 生産計画	14
5. 労働改善計画	15
6. 級地別土地利用区分	15
7. 土地配分計画	15
第3節 用水計画	16
1. 計画基準年	16
2. 計画かんがい方式	16
3. 計画用水系統	16
4. 計画用水量	17
5. 水源計画	18
第4節 排水計画	19
1. 計画基準雨量	19
2. 計画排水方式	19
3. 計画排水系統	19
4. 計画排水量	20
5. 排水対策	20
6. たん水検討	20
第5節 道路計画	21
1. 道路及び索道	21
2. 路線配置図	21
第6節 農用地造成計画	22
1. 農用地造成計画	22
2. 土壤改良	22
第7節 洪水調節計画	22
1. 計画基準雨量	22
2. 計画洪水量及び調節量	22
3. 貯水池	22
4. 洪水調節検討	23
5. 管理計画	23
第8節 干拓計画	23
第9節 農用地整備計画	24
1. 区画整理	24
2. 暗渠排水	25
3. 客土	25
4. 農地保全	25

第10節 老朽ため池改修計画	26
1 . 洪水吐改修計画	26
2 . 堤体補強計画	26
3 . 取水施設改修計画	26
 第 5 章 主要工事計画	 27
第1節 用水施設	27
1 . 貯水池	27
2 . 頭首工	27
3 . 揚水機	27
4 . 用水路	27
5 . その他かんがい施設	27
第2節 排水施設	28
1 . 排水水門	28
2 . 排水機	28
3 . 排水路	28
4 . その他排水施設	28
第3節 道路及び索道	29
1 . 道 路	29
2 . 索 道	29
第4節 農用地造成	29
1 . 農用地造成	29
2 . 土壌改良	30
第5節 洪水調整施設	31
1 . 貯水池	31
2 . 頭首工及び導水路	31
第6節 干拓施設	31
1 . 堤防	31
2 . 潮止め	31
3 . 付属施設	31
4 . 埋立	32
第7節 農用地整備施設	32
1 . 区画整理	32
2 . 暗渠排水	32
3 . 客土	33
4 . 除礫	33
5 . 農地保全	33

第 8 節 老朽ため池改修施設	34
1 . 貯水池	34
2 . 堤体補強施設	34
第 6 章 附帯工事計画	34
第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第 8 章 環境との調和への配慮	34
第 9 章 換地計画の概要	35
第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第 2 節 換地区の設定	35
1 . 換地区的名称、所在、面積	35
2 . 換地区を設定する理由	35
第 3 節 換地計画樹立の基本方針	35
1 . 従前の土地の地積の基準	35
2 . 用途別予定地積	36
3 . 農用地集団化の方針	37
4 . 非農用地の換地方法	37
第 4 節 土地の評価及び清算の方法	37
1 . 評価の方法	37
2 . 清算の方法	37
第 5 節 換地計画樹立の年度計画	37
第 6 節 換地処分の時期に関する特則	38
第 10 章 事業費の総額及び内訳	39
第 11 章 効用	40
第 12 章 関連する事業	40
第 13 章 現況・計画図面	40

第1章 目的

本地区のため池は3つあり、大堤谷第1、第3については、明治時代に築造され、現在に至っており、大堤谷第4については、昭和46～47年度かけて農業構造改善事業　浄法寺地区により築造され、現在に至っている。

本地区のため池は、令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、この法律に基づいて実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。ため池堤体が常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。

よって、本事業により安全性に欠けた不安定なため池の改修を実施し、営農労力と維持管理の低減を図るとともに、農業生産の維持、農業経営の安定および地域住民の暮らしの安全の確保を図り、災害に強い農村づくりを目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用用排水施設	永平寺町吉波、柄原 地係

第2節 地積

令和7年11月

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畠 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用用排水施設	永平寺町	11.8	—	—	—	—	11.8	
計		11.8	—	—	—	—	11.8	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	福井	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)		23.8	8.9	15.1	
降水量	平均(mm)	194	207	202	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	11	17	15	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間	12月～3月		—	日間	
無霜期間	4月～11月		—	日間	
最多風向	S(南)	最大風速	21.8 m/S		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 福井		第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		備考
観測期間 H 3年～R 2年		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大日雨量 (mm)	198	H16. 7. 18	1/101	162	H18. 7. 18	1/22	144	H 7. 7. 3	1/11	138	H25. 7. 29	1/9	134	H24. 9. 6	1/8	
最大時間雨量 (mm)	75	H16. 7. 18	1/43	63	H21. 8. 2	1/17	63	H24. 9. 6	1/17	55	H25. 7. 13	1/10	55	R2. 9. 4	1/10	
最大4時間雨量 (mm)					記録なし											
最大連続雨量 (mm)	567	H 7. 7. 1 ～H 7. 7. 22	1/61	534	H18. 7. 11 ～H18. 7. 27	1/45	350	H25. 11. 15 ～H25. 12. 11	1/8	347	H30. 9. 3 ～H30. 9. 18	1/8	341	H26. 8. 2 ～H26. 8. 30	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	34	H30. 7. 13 ～H30. 8. 15	1/47	32	H 6. 7. 8 ～H 6. 8. 8	1/32	29	H9. 8. 8 ～H9. 9. 5	1/17	25	H22. 7. 16 ～H22. 8. 9	1/8	23	H14. 5. 19 ～H14. 6. 10	1/5	

3. 海象

(第3表-3)

観測所名 観測期間 年～年		既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考		
実測値					該当事項なし						

第2節 土地状況

1. 地形、土壤及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畠・その他						受益地標高(m)		備考
		傾斜区分 1/1000 以下	1/1000 1/100	1/100 1/20	1/20 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下 8°	3° 8°	8°～15° 8°～10° ～15°	15° 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農業用排水施設	面積(ha)	—	—	11.8	—	—	11.8	—	—	—	—	—	—	—	71.1	52.4
	比率(%)	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—		
計	面積(ha)															
	比率(%)	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	71.1	52.4

(第4表-1-2)

土壤統(区)名	土壤区分一覧表										面積(ha)			備考	
	土壤断面										事業名				
	色	腐植	レキ層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層	堆積様式	母材	農業用排水施設	計			
					表土	下層土	一層								
G-62	YR/YR	なし	なし	雲状有糸根状有	壤質	壤質	砂質	なし	沖積世	非固結水成岩	11.8		11.8		
計											11.8		11.8		

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壤の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)					該当事項なし						

2. 土地分類

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考		
	一級地	二級地				三級地				四級地				
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
					該当	事項	な	し					※は傾斜以外の要因によるもの	

級地別 市町村名	干拓					備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
			該当	事項	な	し

3. 土地利用の状況

令和7年11月 (第4表-3)

事業名	市町村名	土地利用別	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他の (ha)	計 (ha)	備考
			水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	そ樹の園他地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水施設	永平寺町		11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	
	合 計		11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	

4. 土地所有の状況

令和7年11月 (第4表-4)

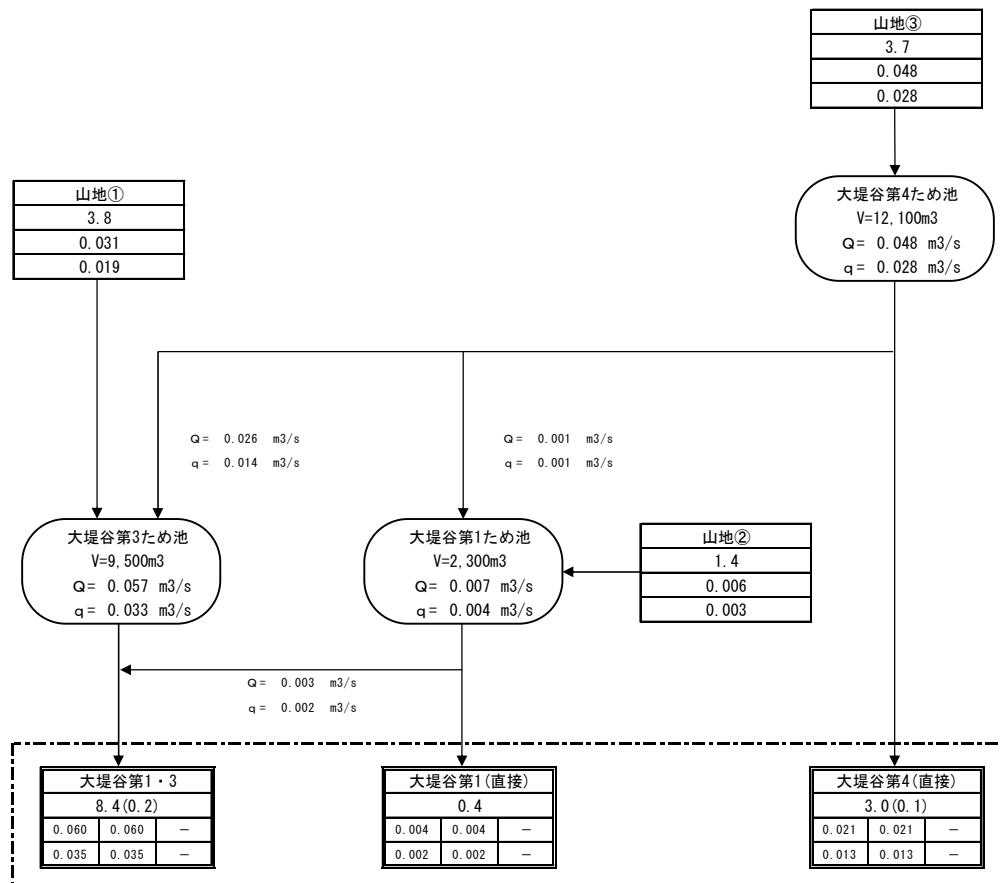
事業名	所有別区分	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備考
		面積 (ha)	—	—	—	—		
農業用排水施設	面積 (ha)	11.8	—	—	—	—	11.8	
	受益者数 (人)	25	—	—	—	—	25	
	筆数 (筆)	104	—	—	—	—	104	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	
	備考							
合計	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考							
	面積 (ha)	11.8	—	—	—	—	11.8	
	受益者数 (人)	25	—	—	—	—	25	
	筆数 (筆)	104	—	—	—	—	104	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	
	備考	—	—	—	—	—	—	

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は溪流水を水源としており、ため池を経由し、開水路により受益地まで送水している。

(1) 現況用水系統



凡 例		
地区内		(イ) 系統名
(イ)	(ロ)	(ロ) 受益面積
(ホ)	(ホ)	(ホ) 代播期必要水量
(ト)	(ト)	(ト) 普通期必要水量
(二)	(二)	(二) 代播期利用可能量
(二)	(二)	(二) 普通期利用可能量
(二)	(二)	(二) 不足量
地区外		(イ) 流域面積
(イ)	(ロ)	(ロ) 代播期流量
(ホ)	(ホ)	(ホ) 普通期流量
(ト)	(ト)	
(二)	(二)	

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		その他		延べ取水量 m³/s	備考		
		500ha以上		50~100ha		50ha未満											
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s				
農業用用排水施設	貯水池 自然取入口	—	—	—	—	3	12.1	3	12.1	—	—	3	0.112	0.112			
	井 壕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	計	—	—	—	—	3	12.1	3	12.1	—	—	1	0.112	0.112			
	合 計	—	—	—	—	1	12.1	1	12.1	—	—	1	0.112	0.112			

※かんがい面積には、不可避面積0.3haを含む

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
農業用用排水施設	貯水池	3	11.8	均一型	第1:V2,300m³, H3.7m, L42.4m 第3:V9,500m³, H5.0m, L41.5m 第4:V15,400m³, H8.9m, L58.0m	第1, 3:不明 第4:S47	・堤体の耐震性の確保	
	井 壕	—	—	—	—	—	—	
	自然取入口	—	—	—	—	—	—	
	揚水機	—	—	—	—	—	—	
	用水路	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	計	3	11.8					
合 計		3	11.8					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名 系統名	項目 かんがい 面 積 (ha)	現 態 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量				平 均 減 産 量		備考	
			かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量(t)		
			平均(m ³ /s)	基準年(m ³ /s)	平均(千m ³)	基準年(千m ³)				
			該 当 事 項		な し					
計										
合 計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい 面 積(ha)	水 温 (℃)		水 質	被 害 量(t)	備 考
			最 高	最 低			
			該 当 事 項		な し		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事 業 名	想 定 被 害 面 積 (ha)				想 定 被 害 額 (百万円)						備 考
	田	畑	その他の	計	作 物	農 地	農業用施設	公 共 施 設	家 屋 その他の	計	
農業用排水施設	6.0	—	—	6.0	—	17	101	19	510	647	
合計	6.0	—	—	6.0	—	17	101	19	510	647	

2. 排水状況

該 当 事 項 な し

(1) 排水系統

該 当 事 項 な し

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	排水面積						計	排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考				
		500ha以上		100~500ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
	自 然 水 路														
	水 門														
	機 械 排 水 機			該 当 事 項 な し											
	水 門 及 び 排 水 機														
	排 水 路 及 び 排 水 機														
	計														
合 計															

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	施設名	項目		受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
		施設名又は 箇 所 数	箇 所						
	自 然 水 路								
	水 門								
	機 械 排 水 機			該 当 事 項 な し					
	水 門 及 び 排 水 機								
	排 水 路 及 び 排 水 機								
	計								
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛 水 状 況				乾 湿 状 況(ha)				平 均 減 産 量		備考	
				湛 水 深 (cm)	湛 水 時 間 (hr)	湛 水 面 積 (ha)	湛 水 量 (千 m³)	田	畑	その他の	作物名	減 産 量 (t)			
				乾 湿	乾 湿	乾 湿	乾 湿								
				平均											
				基 準 年											
				平均		該 当 事 項 な し									
				基 準 年											
計															
合 計															

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m³/s)	備考
			該当事項なし			

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額		該当事項なし			
平均被害額		該当事項なし			

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

該 当 事 項 な し

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構造			改修の要否	備考	
				全幅	有効						
該当事項なし											

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

令和2年国勢調査 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動 産業 (人)	サービス 業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考	
																農業 (人)	林業 (人)
永平寺町	10,161	296	9	2	3	905	1,803	66	605	1,537	228	110	4,211	386	—	国勢調査	
計	10,161	296	9	2	3	905	1,803	66	605	1,537	228	110	4,211	386	—		
比率(%)	100.0	3.1	0.1	—	—	8.9	17.7	0.6	6.0	15.1	2.2	1.1	41.4	3.8	—		

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-2)

項目 市町村名 (戸)	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)												一戸当たり平均農用地面積(ha)			耕地面積の分散状況		専兼業別農家数(戸)		備考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3 ~0.5	0.5 ~1.0	1.0 ~1.5	1.5 ~2.0	2.0 ~3.0	3.0 ~5.0	5.0 ~10.0	10.0 ~20.0	20.0ha以上 自給的農家	田	畠	樹園地	草地	小計	計	一戸当たり 耕地面積(ha)	専業	兼業	
			第一種	第二種															第一種	第二種	
永平寺町	269	3	46	100	49	24	14	11	11	2	9	—	1.81	0.36	—	2.17	—	—	—	—	492
計	269	3	46	100	49	24	14	11	11	2	9	—	1.81	0.36	—	2.17	—	—	—	—	492
比率(%)	100.0	1.1	17.1	37.2	18.2	8.9	5.2	4.1	4.1	0.7	3.3	—	83.4	16.6	—	100.0	—	—	—	—	100.0

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考	
	トラクター		田植機		動力防除機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		豚			
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (百羽)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)		
永平寺町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
100戸当数 (台、頭)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
利用戸数 割合(%)																		

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

4. 主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-4)

市町村名	永平寺町						計	平均	作付率 (%)	備考	
総耕地面積(ha)	987						987	987			
総本地面積(ha)	955						955	955			
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
輪換田	表作	水稻	608	505					608	505	63.7
		小麦	131	189					131	189	13.7
	裏作	大豆	4	56					4	56	0.4
		そば	74	73					74	73	7.7
		小計	817						817		
	春夏作										
	秋冬作										
	小計	-									
樹園地											
	小計	-									
計		817							817		
市町村別 延べ作付率(%)		85.5							85.5		

5. 農業の動向

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物		大家畜		動力農機具			地域指定等	備考		
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指標)	総農家数	83	54	耕地	98	95	水稻	98	93	乳牛	-	-	田植機	64	-	農業振興地域 ・永平寺町(旧永平寺町) 指定 S46. 3. 9 認可 H21. 2. 5	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専業農家	241	-	田	98	96	麦類	109	-	肉用牛	-	-	動力耕耘機	-	-		
	第一種兼業農家	76	-	畠	100	98	豆類	43	13	豚	-	-	トラクター	70	-		
	第二種兼業農家	79	59	樹園地	-	-				採卵鶏	-	-	バインダ	-	-		
	農業従事者数	72	-	草地	-	-							コンバイン	67	-		
	変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大		農業離れ		農業離れに伴う農機具所有台数の減					

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの -:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区は、永平寺町の北部に位置し、一級河川 九頭竜川の右岸側に広がる農業地域であり、豊かな自然に囲まれた地区である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区のため池は、常時・地震時における安定性に欠け、堤体崩壊の危険が極めて高い状態である。

よって、本事業により脆弱化した堤体を改良土によりかさ上げを行うことで、安全性を確保し、更に、老朽化した洪水吐等も併せて整備を行い、災害発生を未然に防止する必要がある。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農業用排水施設												計	備考
	水田 (ha)	普通畠 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畠 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
事業目的														
農業用排水施設	11.8	—	—	—	—	11.8						—	11.8	
計	11.8	—	—	—	—	11.8						—	11.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区では、現在作付けされている水稻+小麦を今後も作付けしていく計画である。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畠 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
		現況	11.8	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	
農業用排水施設	計画												
	計画	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	
	現況												
	計画												
計	現況	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	
	計画	11.8	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8	

3. 作付方式

(第 9 表-2)

4. 生産計画

(第 9 表-3)

※表内の作付率は本地面積（現況11.1ha、計画11.1ha）に対する割合である。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)					備考
				区分	現況	計画	増減		
農業用排水施設	輪換田	水 稲	7.3	人 力	15.88	15.88	—		
				機 械	2.88	2.88	—		
		小 麦	3.4	人 力	5.17	5.17	—		
				機 械	2.36	2.36	—		
		ばれいしょ	0.4	人 力	89.74	89.74	—		
				機 械	3.15	3.15	—		
		畑							
	樹園地								
合 計			11.1						

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分	級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)					該当事項なし						
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)										備考	
		田	輪換耕地	畑							計		
				普通畑	牧草畑	樹園地							
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		

第3節 用水計画

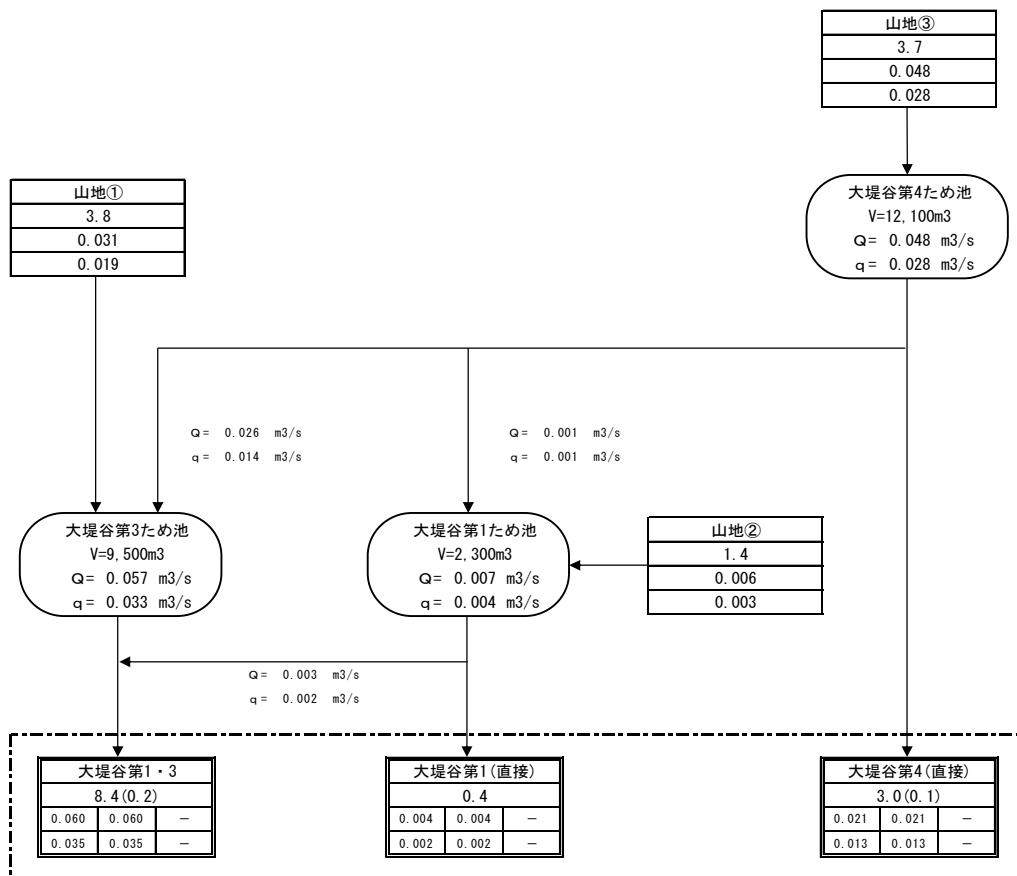
1. 計画基準年

計画基準年 1997年 (福井地方気象台福井観測所1995年~2024年の30年間)
連続干天日数29日

2. 計画かんがい方式

かんがい方式 開水路によるかんがい

(1) 計画用水系統



凡例	
地区内	(イ) 系統名 (ロ) 受益面積 (ハ) (ホ) (ト) (二) (ヘ) (ト)
地区外	(イ) (ロ) (ハ) (ホ) (ト) (二) (ヘ) (ト)
	(イ) 流域面積 (ロ) 代播期流量 (ハ) 普通期流量

4. 計画用水量
(1) かんがい用水

項目 系統名	種別 農業用 用排水 施設	面 積 (ha)				水田かんがい			水田畑利用			畠地かんがい		
		事 業 名				普通期 計画平 均単位 用水量 (mm/日)	代播期 計画代 播单位 用水量 (mm/日)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面 積 (ha)
		計												
大堤谷 第1(直接) 用水		0.4			0.4	28	150	0.4	4	3	—	4	3	—
大堤谷 第1,3 用水		8.6			8.6	28	150	5.7	4	3	2.9	4	3	—
大堤谷 第4(直接) 用水		3.1			3.1	28	150	2.0	4	3	1.1	4	3	—
計		12.1			12.1				8.1			4.0		—

※面積は、不可避込みの面積である。

(第10表-1-1)

その他		消費 水量 (m³/s)	損失 率 (%)	粗用水量		備考
計画平均 単位用水 量 (mm/日)	面 積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
—	—	0.003	15	0.002	0.004	
—	—	0.052	15	0.035	0.060	
—	—	0.018	15	0.013	0.021	
—	—	0.074		0.050	0.085	

※消費水量は代播期の値、粗用水量の平均値は出穂開花期、最大値は代播期の値とした。

(2) 営農飲雜用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)		日当給水量			補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考			
		事業名		単位給水量 (m³/日)	最大給水量 (m³/日)							
			計									
		該 当 事 項 な し										

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量	水源依存量	水源工種	備考
					水源名	取水地点利用可能量	圃場利用可能量				
区分	a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-a) (千m³)	e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)	i (千m³)	j	損失率 α
事業名					該 当 事 項 な し						
計											

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目	流域面積 (km²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考					
	事業名		直接	間接	用排水										
	直接	間接													
大堤谷第1	0.014	—	9.0			9.0	2.3	2.3	—	0.007					
大堤谷第3	0.038	—	8.6			8.6	9.5	9.5	—	0.057					
大堤谷第4	0.037	—	12.1			12.1	15.4	15.4	—	0.048					
計	0.089	—	12.1	—	12.1		27.2	27.2	—	0.112					

※かんがい面積は、不可避面積込みの面積である。

※かんがい面積については、大堤谷第1及び第3は、第4と重複。

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m³/s)	渴水量 (m³/s)	備考			
			事業名		計						
			直接	間接							
			該 当 事 項 な し								
計											

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目	水源名	かんがい面積(ha)			所要水量(m³/s)	揚水機			備考		
		事業名		計		最大					
		直接	間接			実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台数 (台)			
		該 当 事 項 な し									

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目	かんがい面積(ha)			最大通水量 (m³/s)	延長 (km)	構造		備考			
	事業名		計			台数					
	直接	間接				台数	全通水量 (m³/s)				
	該 当 事 項 な し										

(オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

(第10表-7)

時 間 別	かんがい面積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当	事 項	な し		

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画排水方式

該 当 事 項 な し

3. 計画排水系統

該 当 事 項 な し

4. 計画排水量

(第 11 表-1)

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

(2) 排水機

(第 11 表-3)

(3) 排水路

(第 11 表-4)

(4) そ の 他

該 当 事 項 な し

6. たん水検討

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項目 路線名	幅 (有効) (m) × 延長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
	該 当 事 項 な し			
計				

(2) 索 道

(第12表-2)

項目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当 事 項 な し			

2. 路線配置図

該 当 事 項 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
		該当事項なし			

(2) 末端道水路配置図

2. 土壤改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
				該当事項なし						

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当事項なし

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の最大 流量の差 (m ³ /s)	最大 調節量 (m ³ /s)
				該当事項なし						

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量(m ³ /s)	可能調節 流量(m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
大堤谷第1	0.014	—	0.24	2.3	—	—	—	—	
大堤谷第3	0.038	—	0.59	9.5	—	—	—	—	
大堤谷第4	0.037	—	0.51	15.4	—	—	—	—	

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 事 項 な し

5. 管理計画

(1) 管理機構

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hP)	備 考
		該 当 事 項 な し				

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
	該当事項なし				
計 - - -					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m³)	備考
	該当事項なし			

(3) 末端道水路配置図

該当事項なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (m³/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考						
	事 業 名														
			計												
				該 当 事 項 な し											
計															

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

区分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	土壤硬度	備 考				
	事 業 名									
			計							
				該 当 事 項 な し						
計										

3. 客 土

(第16表-4)

区分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壌の性質		備 考	
	事 業 名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (客土材料)	採土地 (客土材料)		
			計										
				該 当 事 項 な し									
計													

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

区分	項目	最 大 風 速 (m/s)		幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
		現況 平均	計画 平均			
	該 当 事 項 な し					

(2) 排水工

(第16表-5-2)

名 称	項 目	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
					単位排水量 (m³/s/ha)	全 排 水 量 (m³/s)	
	該 当 事 項 な し						

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

施設名	項 目	位 置		支 配 面 積 (ha)		機 能	備 考
	該 当 事 項 な し						

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

1/200年確率………76.0mm/hr

(2) 計画洪水量

- ・大堤谷第1………0.24 m³/s
- ・大堤谷第3………0.59 m³/s
- ・大堤谷第4………0.51 m³/s

2. 堤体補強計画

地震対策………築堤盛土による耐震性の確保

3. 取水施設改修計画

該 当 事 項 な し

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	大堤谷		位置		永平寺町吉波地係					備考	
	型式	流域面積 (km²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m³)	基礎地盤		貯水量 (千m³)		
		直接	間接				地質	粘質・礫質	総貯水量	有効貯水量	
堤体	[第1] 均一型	0.014	—	4.13	42.40	2.65	粘質・礫質	2.3	2.3		
	[第3] 均一型	0.038	—	5.30	41.50	2.97	粘質・礫質	9.5	9.5		
	[第4] 均一型	0.037	—	10.10	58.00	12.81	粘質・礫質	15.4	15.4		
	型 式	洪水量 (m³/s)			型式	取水量 (m³/s)			型式	放流量 (m³/s)	
洪水吐	[第1] 水路流入型	0.24			[第1] 斜桶	0.007			[第1] —	—	
	[第3] 水路流入型	0.59			[第3] 斜桶	0.057			[第3] —	—	
	[第4] 水路流入型	0.51			[第4] 斜桶	0.048			[第4] —	—	

2. 頭首工

(第17表-2)

名 称	位 置			提 水 位				備 考	
	提 高 (m)	提 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付 带 施 設			
		固 定 部	可 動 部			該 当 事 項 な し			
				該 当 事 項 な し					

3. 揚水機

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m³/s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (kW)	台 数 (台)	
			該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	該 当 事 項 な し	

4. 用水路

(第17表-4)

項 目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考	
	事 業 名				開きよ	トンネル	計					
			計		その他	計	計					
計												

5. その他かんがい施設

該 当 事 項 な し

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m³/s)	備考
			該当事項なし				
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m³/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
			該当事項なし								
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考					
	事業名				開きよ	トンネル その他	計									
			計													
				該当事項なし												
計																

4. その他排水施設

該当事項なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造 造	付 带 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
		該 当 事 項 な し								
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考	
					形 式	動 力
		該 当 事 項 な し				

2. 索 道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	
		該 当 事 項 な し				

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 拔 根

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考	
						該 当 事 項 な し	
計							

(2) 除 磊

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除磊量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考	
					該 当 事 項 な し	
計						

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目 区分		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造成工法			
		該 当 事 項 な し		
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

項目 区分		面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項 な し		
計				

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し			
計					

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分		数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し			
計					

2. 土壤改良

(第20表-7)

項目 区分		面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
		該 当 事 項 な し				
計						

第5節 洪水調節施設
1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路
(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置			備考			
	堤長 (m)	計画洪水位 (m)	付帯施設				
型式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計		
			該 当 事 項 な し				

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			
				該 当 事 項 な し			

第6節 干拓施設
1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)	備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面		
			該 当 事 項 な し					

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
				該 当 事 項 な し			

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

4. 埋立

(第2表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m³)	施工方法	備考
		該当事項なし			

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第2表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m³)	面積(ha)	土量(m³)	
		該当事項なし				

(2) 末端用水路等

(第2表-2)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
		該当事項なし		

(3) 末端排水路等

(第2表-3)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
		該当事項なし		

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第2表-4-1)

項目 区分	面積(ha)			集水渠			吸水渠					集水渠出口 以下の排水施設			備考		
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
				該当事項なし													
計																	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項 な し			
計					

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面 積 (ha)			客入土量 (千m³)	土取場土量 (千m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考					
	事 業 名												
			計										
		該 当 事 項 な し											
計													

4. 除 磯

(第23表-6)

項目 区分	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項 な し			
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
		該 当 事 項 な し				
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流 量 (m³/s)	構 造	備 考
		該 当 事 項 な し		
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構 造	数 量	備 考
		該 当 事 項 な し	
計			

第8節 老朽ため池改修施設
1. 貯水池

(第24表)

名 称	大堤谷				位 置	永平寺町吉波地係		
	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)		堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)
堤 体	[第1] 均一型	0.014	4.13	42.40	2.65	3.00	2.3	
	[第3] 均一型	0.038	5.30	41.50	2.97	3.10	9.5	
	[第4] 均一型	0.037	10.10	58.00	12.81	4.70	15.4	
	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考
洪 水 吐	[第1] 水路流入型	0.24	B1.0×H1.3			[第1] 斜 棘	0.007	
	[第3] 水路流入型	0.59	B1.6×H1.56			[第3] 斜 棘	0.057	
	[第4] 水路流入型	0.51	B1.2×H1.99			[第4] 斜 棘	0.048	

2. 堤体補強施設
(1) のり面保護施設

- ・大堤谷第1 …… 該当事項なし
- ・大堤谷第3 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。
- ・大堤谷第4 …… 張ブロックにより、法面保護を行う。

(2) 漏水防止工

- ・大堤谷第1 …… 該当事項なし
- ・大堤谷第3 …… 遮水シート（ペントナイトシート）を設置し、漏水対策を行う。
- ・大堤谷第4 …… 該当事項なし

第6章 附帯工事計画

- ・大堤谷第1 …… 安全施設（防護柵）の設置・撤去
- ・大堤谷第3 …… 安全施設（防護柵）の設置・撤去
- ・大堤谷第4 …… 安全施設（防護柵）の設置・撤去

第7章 工事の着手及び完了の予定期

換地区または工区	着 手	完 了 予 定	備 考
全区	令和 8 年度	令和 12 年度	

第8章 環境との調和への配慮

施工の際、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

本ため池では、ツチガエル、アカハライモリ（両生類）、オオヨシノボリ（魚類）、コシアキトンボ、クロスジギンヤンマ、ギンヤンマ、ルリボシヤンマ、シオカラトンボ、アジアイトトンボ（トンボ類）、スジエビ、マツモムシ（底生動物）、ホソバミズヒキモ（植物）など多種多様な種がそれぞれ確認された。このうち、重要な種として環境省RL、福井県RDBに指定されているアカハライモリ、ホソバミズヒキモが確認されており、これら重要な種をはじめとする在来種の積極的な保全が求められる。

施工前の水抜きの際には、斜樋、底樋ゲートの流出ポイントにタモ網等を設置し、生物の流出防止に努める。さらに、水面積が小さくなった時点（植物の場合は採取が可能な時点）で、個体の全量採捕を実施し、周辺の生息適地、またはコンテナ等の一時的な避難場所に移動する。なお、外来種が確認された場合は、その場で駆除を行う。

第9章 換地計画の概要
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当事項なし

第2節 換地区の設定

1. 換地区的名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区的の所在	面積(ha)
	該当事項なし	

2. 換地区を設定する理由

該当事項なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
	該当事項なし

2. 用途別予定地積

(单位 : ha) (第 25 表 - 3)

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方針		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畠畔の取扱い
		該当事項	なし	

4 非農用地の換地方法

該当事項なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

該当事項なし

2 清算の方法

該当事項なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定期度	備考
		該当事項なし		

第6節 換地処分の時期に関する特則

該 当 事 項 な し

事業名 区分	農業用用排水施設	備考
堤体工	331,800 千円	令和7年度単価
洪水吐工	48,300〃	
附帯工	28,300〃	
仮設工	61,600〃	
小計	470,000〃	
測量試験費	43,000〃	
用地買収補償費	7,000〃	
小計	50,000〃	
計	520,000〃	
総事業費	520,000〃	
関連事業 (参考)		

第11章 効用

(第27表)

事業名 区分	項目	年增加見込効果額 (千円)	年增加見込所得額 (千円)	備考
農業用用排水施設	食料の安定供給の確保に関する効果	4,646	—	
	作物生産効果	5,095	—	
	営農経費節減効果	△ 414	—	
	維持管理費節減効果	△ 35	—	
農村の持続的発展に關する効果		9,268	—	
	災害防止効果(農業資産)	9,268	—	
農村の振興に關する効果		17,509	—	
	災害防止効果(一般資産)	17,509	—	
多面的機能の發揮に關する効果		792	—	
	災害防止効果(公共資産)	792	—	
その他の効果		933	—	
国産農産物安定供給効果		933	—	
計		33,148	—	令和7年度単価

総費用(現在価値化) : 586,175 千円

総便益額(現在価値化) : 686,829 千円

総費用 総便益比 : 1.17 ≥ 1.00

総所得償還率 : — % ≤ 20 %

増加所得償還率 : — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	備考
		該当事項	なし	

第13章 現況・計画図面

別途添付

1. 計画平面図

福井県内位置図



本地區

令和8年度新規採択希望 県営土地改良事業 大堤谷地区
(農業用排水施設(ため池等整備事業(防災重点緊急整備型))事業) 計画平面図

標準断面図

